SI&C



Beyond SI

変化する、進化する、これまでを、超越する。



Philosophy　フィロソフィ

MISSION

Sustainable Society by Digital Technology

デジタル技術で、未来を良くする、社会を変える。

今やビジネスにも暮らしにも不可欠な、デジタル技術。
そのテクノロジーを時代の変遷に先駆け進化させ続け、
これからさらに期待を超えるソリューションを提供していく。
私たちが創造するのは、より良い未来、より良い社会です。

VISION

Professional Innovator Beyond SI

固定観念を打破し、変革を追究し続ける。

私たちの仕事に、完成やゴールはありません。
進化し続けること、革新し続けること、
そして、常に枠を超えて果敢に挑み続けること。
これまでにない価値と可能性を、世界へ。

VALUE

- ***Commitment of Quality*** 期待値を超える品質
- ***Priority of Speed*** 圧倒的な速さを体現する
- ***Leverage of Technology*** 役立つ・貢献するを提供する
- ***Power of Methodology*** 培った技術・知見を超える
- ***Culture of GRIT*** やり抜く力を進化させ続ける

Corporate Profile　会社概要

株式会社SI&C（SI&C Co.,Ltd.）

本社所在地	東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング南館24F
創業	昭和55年（1980年）1月12日
資本金	3億5,000万円
年商	［連結］203億1,800万円（2026年8月期）
社員数	［連結］1,648名（2026年9月現在）
拠点	大阪オフィス
グループ会社	株式会社エーエスエル



Office

2025年2月、港区浜松町に本社を移転。
柔軟な働き方を尊重しつつ、社員の創造性とコミュニケーションを
促す場所を目指し開放感に満ちあふれた新オフィスを整備しました。

気兼ねなくコミュニケーションが取れ、心も身体もリフレッシュできる場所。
その環境が自ずと垣根を超え、マインドを変え、アイデアを生み出す。

社員一人ひとりのイノベーションを加速する空間になり得るのなら、
私たちにとって、これほど嬉しいことはありません。









デザインはオープンで社員の誰もが利用しやすい、『ふらっと立ち寄れるオフィス』を意識しております。
そのためパーティションは最小限にとどめ、窓に向けて空間を広げるなど目に見える開放感を重視。

内装はトレンドにとらわれないシックで落ち着きのあるデザインを採用し、
新しさの中にも老舗SIerとしての品格やカルチャーを感じられる空間に仕上げました。

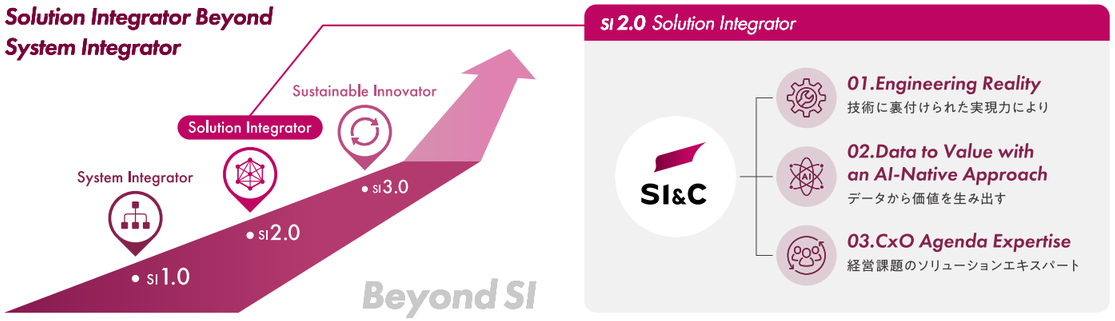
「システムインテグレーター」から「ソリューションインテグレーター」へ

コンサルティングから業務アプリケーション基盤の設計・開発・保守まで、トータルITサービスを幅広い業種・分野で提供。創業から45年にわたり培ってきた豊富な業務ナレッジと、DXソリューションやAIといった最先端技術を駆使する高い開発力・プロジェクトマネジメント力を活かし企業の業務革新をサポートしております。

PMP 国際的なプロジェクトマネジメント資格である「PMP(Project Management Professional)」。
当社ではPMP取得を推進し、社員の成長を全面的にサポートしています。

CMMI ソフトウェア開発プロセスの能力成熟度を示す国際指標「CMMI (Capability Maturity Model Integration)」。
当社は3事業部門および品質管理部門において、最高レベルである「ML5」を複数回にわたり達成しています。

SI&C SICP
SI&C System Integration Control Process
当社独自の開発標準
PMP × CMMI



01.Engineering Reality

確かな技術に裏付けされた実現力

複数のソリューションを最適に組み合わせた「Best Of Breed」。
幅広い技術力を駆使し、イノベーションを実現します。

経営管理 / CRM / マーケティング / 業務自動化・効率化 / Robotics / IoT / Mobility / Cyber Security / Pro-Code / Low-Code / Horizontal / Vertical SaaS / Governance / Risk Management / Compliance / Data Management Platform / Master Data Management / iPaaS / API Management / Cloud Native / AI / Analytics / ERP

パートナーアライアンス(一部抜粋)

aws PARTNER Select Tier Services / aws PARTNER Solution Provider / ORACLE Partner / dynatrace / salesforce PARTNER / servicenow / Anaplan / STIBO SYSTEMS MASTER DATA MANAGEMENT / braze / Asteria warp / shopify / Kong / Q-STAR

社名・サービス名
Amazon Web Services Japan : AWS Select Tier Services Partner,AWS Solution Provider / **Oracle Japan :** Cloud SELL トラック / **Dynatrace :** Premier Sales Partner / **Salesforce :** コンサルティングパートナー / **ServiceNow :** Consulting & Implementation, Reseller パートナー / **Anaplan :** パートナー / **Stibo Systems :** ワン・グローバル・パートナー / **Braze :** ソリューションパートナー / **ASTERIA Warp :** マスターパートナー , サブスクリプションパートナー , テクニカルパートナー他 / **Shopify :** Registered パートナー / **Kong :** リセラーパートナー / **Q-STAR :** 特別会員

02.Data to Value with an AI-Native Approach

データから価値を生み出す

AI駆動で価値のあるデータを「生成」・「収集 / 蓄積」・「利活用」をEnd to Endで提供。顧客ビジネスのイノベーションを加速させます。

01. 価値の源泉となるデータを生み出す
02. データを統合、パーソナライズ化する
03. データから価値を、ビジネスに革新を

SI&Cのケイパビリティ

SI+
フルスクラッチから多様な開発にまで対応する従来型のSI力

Cloud
価値の源泉となるデータを収集・蓄積するためのデータプラットフォーム

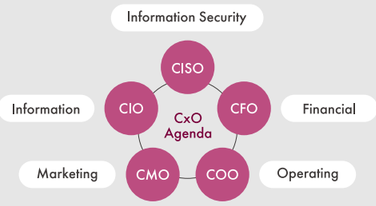
AI
データから新たな価値を創出するためのAI力

Consulting
企画・構想力を高めるConsulting力

03.CxO Agenda Expertise

経営戦略課題を解決し、競争優位を創造する

CxOアジェンダに対応するソリューションを拡充し、コア・コンピタンスとして昇華。
産業毎の専門体制により、業務に適したソリューションを「Best Of Breed」で提供します。



SI&Cのコア・コンピタンスとなるファンクション領域

CISO Information Security
- セキュリティガバナンスデザイン
- サイバーリカバリ
- IDガバナンス管理 & 認証アーキテクチャ支援
- ゼロトラストソリューション導入支援

CFO Financial
- 経営管理高度化
- 経理業務BPR
- SSC・アウトソーシング支援
- 予算管理・EPMソリューション支援

COO Operating
- オペレーティングモデルトランスフォーメーション
- サプライチェーンマネジメント改革
- CRM / 需要予測・需給計画
- 生産管理 / ロジスティクス

CMO Marketing
- ブランディング戦略(MVV/パーパス策定)
- マーケティングリサーチ・戦略策定
- デジタル・マーケティングソリューション導入

CIO Information
- IT/DX 戦略策定
- IT全体アーキテクチャ策定
- IT SSC・アウトソーシング支援
- システム管理PgMO/PMO
- 量子コンピューティングR&D(量子暗号通信/量子AI)

Creative
- ブランディングデザイン(コーポレート/プロダクト)
- コミュニケーション戦略 / サービスデザイン
- UI/UXデザイン / コンテンツ制作
- Webサイト / アプリケーションデザイン
- プロダクト企画 / デザイン

代表取締役社長

岩澤 俊典　*Iwasawa Toshinori*



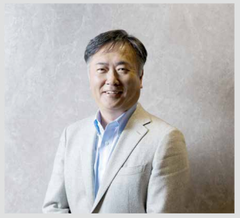
伊藤忠商事株式会社でアジア地域における産業機械ビジネスを担当したのち、コンサルティング業界へ転身。主に日系グローバル企業のDXプロジェクトを牽引し、アビームコンサルティング株式会社の代表取締役社長を約11年間務める。

2020年からの3年間はデジタル庁の立ち上げに携わり、2023年に株式会社システム情報（現：株式会社SI&C）の顧問へ。2024年1月には同社の代表取締役社長に就任し、第三創業期における新たな価値の創出を目指す。

日経BP総合研究所 フェロー　桔梗原 富夫氏　×　弊社代表　岩澤 俊典

『日経ビジネス電子版』掲載記事より引用

DX時代に求められる真のパートナーへ
ソリューションインテグレーターへの変革と意義



**“「DXの実現には構想を形にする力が不可欠です
多彩なサービスと品質で期待値を超えていきたい」”**

企業がDXを進めていく上では、描いたビジョンをシステムにまで落とし込んでいくことが必要だ。これができないようでは、せっかくの取り組みも画餅に帰してしまう。2024年に社名を変更し、生まれ変わったSI&Cは、持ち前のシステムインテグレーション力を軸にソリューションポートフォリオを大幅に拡大。顧客企業の期待を超えるソリューションインテグレーター企業を目指していくという。

社名変更とフィロソフィーの策定で変革に向けた本気度を内外に示す

桔梗原　SI&Cは2023年にMBO（マネジメント・バイアウト：経営者や従業員が自社を買収すること）による非上場化に踏み切り、2024年には社名も変更しました。まずはその狙いについて教えてください。

岩澤　当社は設立から45周年を迎えますが、これまでは主にTier2のシステムインテグレーターとして事業を行ってきました。しかし、さらなる成長を遂げていくためには、当社自身が変革し、ほかの領域へもビジネスを広げていかなくてはなりません。そのためには、大規模な投資も必要になってきますが、非上場化によって短期的な業績や株価の変動にとらわれない経営体制の構築が可能になります。

社名変更については、当社の変革に向けた本気度を内外に示したいとの狙いがあります。歴史ある「システム情報」という社名を「SI&C」に変更し、ロゴも一新することで、生半可な覚悟ではないことをお伝えできればと考えています。

桔梗原　「Beyond SI」という企業フィロソフィーも新たに策定しました。

岩澤　これには「従来型SIの枠組みを超えたソリューション企業になる」という意味と、システムインフォメーション、つまり旧社名時代の当社を超えていくという二重の意味を持たせています。加えて、今後の当社の方向性を表す「MVV（ミッション・ビジョン・バリュー）」も新たに定めました。これからの会社の在り様を表すものだけに、多くの社員との対話を通してできたことは大きな意義があると感じています。先日、社内で実施したエンゲージメント調査のポイントが前年よりも大幅にアップするなど、取り組みの成果も着実に上がっています。

Best of Breed型の提案を推進しSIerからソリューションインテグレーターへ

桔梗原　堅調なDX需要を追い風に、SI業界は活況を呈しています。しかし、この先を見据えたときには、課題も多いように感じます。

岩澤　私はかつてデジタル庁に籍を置いていましたが、その時に強く感じたのが「多重下請け構造」による非効率性です。ピラミッド型の業界構造であるが故に生産性が上がらず、プロジェクトが解散したら各企業にノウハウも残りません。加えて、レイヤーの下にいくほど報酬も低く、小さな企業がたくさんある。これでは、大きな塊として動ける欧米のライバル企業にはとても太刀打ちできません。当社は、こうした業界の現状に一石を投じたいという思いがあります。

桔梗原　それが先ほどのフィロソフィーにも表れているわけですね。岩澤さんはデジタル庁以外にも、アビームコンサルティングのトップを長年務めるなど、豊富な経験と知見をお持ちですが、企業のDXを支えるパートナーにはどのような資質が求められると考えていますか。

岩澤　日本の事業会社はどこも慢性的な人材不足ですので、DXを進めようとすると、どうしても外部のパートナーに頼らざるを得ません。そこで、コンサルティングファームにという話になるわけですが、ここで1つ重要なポイントがあります。それは委託するパートナーは「自分で実装までできるのか」という点です。

自社で実装できない場合はパートナーも外部に委託するという形になります。その結果、描いたビジョンを正確にシステムに落とし込むことが難しい。また委託先にも業務知識などのノウハウがたまっていきますから、顧客企業としてもこちらに直接頼んだほうがいいのではという疑問がわいてきます。実装の部分まできちんと手掛けられないと、顧客に寄り添えるDXのサービスプロバイダーにはなれないだろうとみています。



聞き手　日経BP総合研究所　フェロー　桔梗原 富夫

桔梗原　SI&Cとしても、そういう方向性を目指すのですか。

岩澤　もともと当社はインフラ領域に強い企業です。さらにアプリケーション開発にも秀でており、多種多様なシステム／データをつなぎ合わせる力もあります。こうした持ち前の強みの上に、PaaS/SaaSなどのソリューションを加えていけば、お客様にとって理想的なサービスポートフォリオを持つ会社になれるはずです。私が描いている戦略もまさにそこにあります。システムインテグレーターからソリューションインテグレーターへの変革です。

桔梗原　それがソリューションの品ぞろえを増やしている理由というわけですね。

岩澤　様々な分野のソリューションを幅広くカバーできていないと、真の意味で「Best of Breed」型の提案は行えません。特に今後は、お客様の業務にまで入っていくことが重要と考えており、SalesforceやServiceNowなどの提案にも力を入れています。

コンサルティング機能も強化し顧客企業のイノベーションを加速

桔梗原　DXに取り組む顧客企業から見たときに、SI&Cはどのような価値を提供できるのでしょうか。

岩澤　まずは我々のベースともなっているのが、開発・デリバリー品質の高さとプロジェクトマネジメント力です。当社では、国際的なプロジェクトマネジメント資格「PMP」の取得を目指す社員を全力でサポートしているほか、ソフトウエア開発プロセスの能力成熟度指標である「CMMI」のレベル5を達成しています。また、これに基づく独自開発標準「SICP」も定めています。生保・損保をはじめとする数多くのお客様にご評価いただけているのも、これらの取り組みによる高い品質があればこそだと考えています。

そうしたお客様からは、今後のイノベーションを支えるパートナーとしても大きな期待をいただいています。そこで、ソリューションの拡充に加えて、DX領域向けのコンサルティング業務も強化していきます。そのためにコンサルティングユニットやクラウドネイティブユニットといった新たな組織も立ち上げました。長年にわたり保守運用を手掛けてきた我々は、お客様にもっとも近い存在だと自負しています。その当社だからこそ、期待を超えた支援ができると確信しています。

桔梗原　そうなるとより多くの人財も必要になりそうです。

岩澤　はい。人財の拡充に引き続き努めていきます。当社は風通しの良い社風ですし、新たなチャレンジに取り組める機会も多い。旺盛な好奇心を持ち、自らのスキルを磨きたいと考えている方は大歓迎です。新しい人財を積極的に採用し、DXの伴走者としてさらなる陣容を整えていくつもりです。



Key Experts in Strategic Management



芝崎 智之
Tomoyuki Shibasaki
Business Unit3 Leader



村越 裕
Yu Murakoshi
Business Unit4 Leader



梅原 隆
Takashi Umehara
Corporate Officer /
Business Unit1 Leader



松島 國男
Kunio Matsushima
Corporate Officer /
Business Unit2 Leader



増田 航太
Kota Masuda
Corporate Officer /
Management Strategy Group Leader



春日 重俊
Shigetoshi Kasuga
Corporate Officer /
Cloud Native Unit Leader



髙梨 晋
Shin Takanashi
Corporate Officer /
West Japan Business Unit Leader



西本 憲二
Kenji Nishimoto
Corporate Officer /
DX Solution Unit Leader /
Commercial Group Leader



高橋 陽二郎
Yojiro Takahashi
Corporate Officer /
Project Support Group Leader



的射場 智之
Tomoyuki Matoiba
Corporate Officer /
Human Resources Group Leader /
Corporate Management
Group Leader



平出 浩太郎
Kotaro Hirade
Corporate Officer /
株式会社エーエスエルCEO

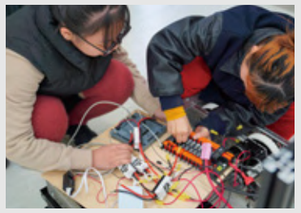
Leadersのインタビュー
記事はこちら ▶

神山まるごと高専 公認ロボコンチーム『Hanabi』への支援

SI&C は、私立高等神山まるごと高等専門学校（以下 神山まるごと高専）の公認ロボコンチーム「Hanabi」とのスポンサー契約を締結。プラチナパートナーとして、国際ロボット競技会「FIRST® Robotics Competition（以下FRC）」への挑戦を応援しています。

FRC Team Hanabi

徳島県神山町にある専門学校「神山まるごと高専」所属の公認FRCチーム。2023年の創設よりFRCへの参加活動を通して技術力と創造力を磨き、2024年にはハワイで開催されたFRC地区大会にて「Rookie Inspiration Award」を受賞するなど、輝かしい成果を収めました。SI&CではHanabiによるFRC関連のロボット製作をはじめ、アウトリーチ活動における地方創生やSTEM教育等の推進をサポート。未来を担う学生たちの成長と更なる技術革新に寄与します。


健康経営への取り組み

私たちは社員が心身共に健康であることが企業価値向上の源泉であると考え、「健康経営」を積極的に推進しています。
組織内には安全衛生委員会と専属の産業医を配置し、社員ならびにご家族の皆様まで安心できる体制を構築。そうした取り組みや実際の環境が評価され、**3年連続で『健康経営優良法人』に認定されています。**

- 健康管理アプリ完備のスマートフォン支給
- わかばファームと連携し食生活の改善をサポート
- 感染症の予防接種を社内で実施（費用補助あり）
- 特別休暇制度・時差出勤制度・在宅勤務制度あり

障がい者雇用の促進：わかばファーム

障がいを持つ方々の生き甲斐あふれる社会参画を目的として、2016年4月に農園「わかばファーム」を開園しました。ファームでは四季折々の野菜を無農薬で栽培しており、社員の手元へも福利厚生の一環として行き渡ります。

また野菜の一部を子ども食堂へ寄付したり、開発途上国の給食支援に役立てる取り組みも実施。
わかばファームは障がい者スタッフの活躍の場であると同時に、野菜を通じた社内コミュニケーションを促し会社全体のノーマライゼーション意識を向上させる役割も担っています。



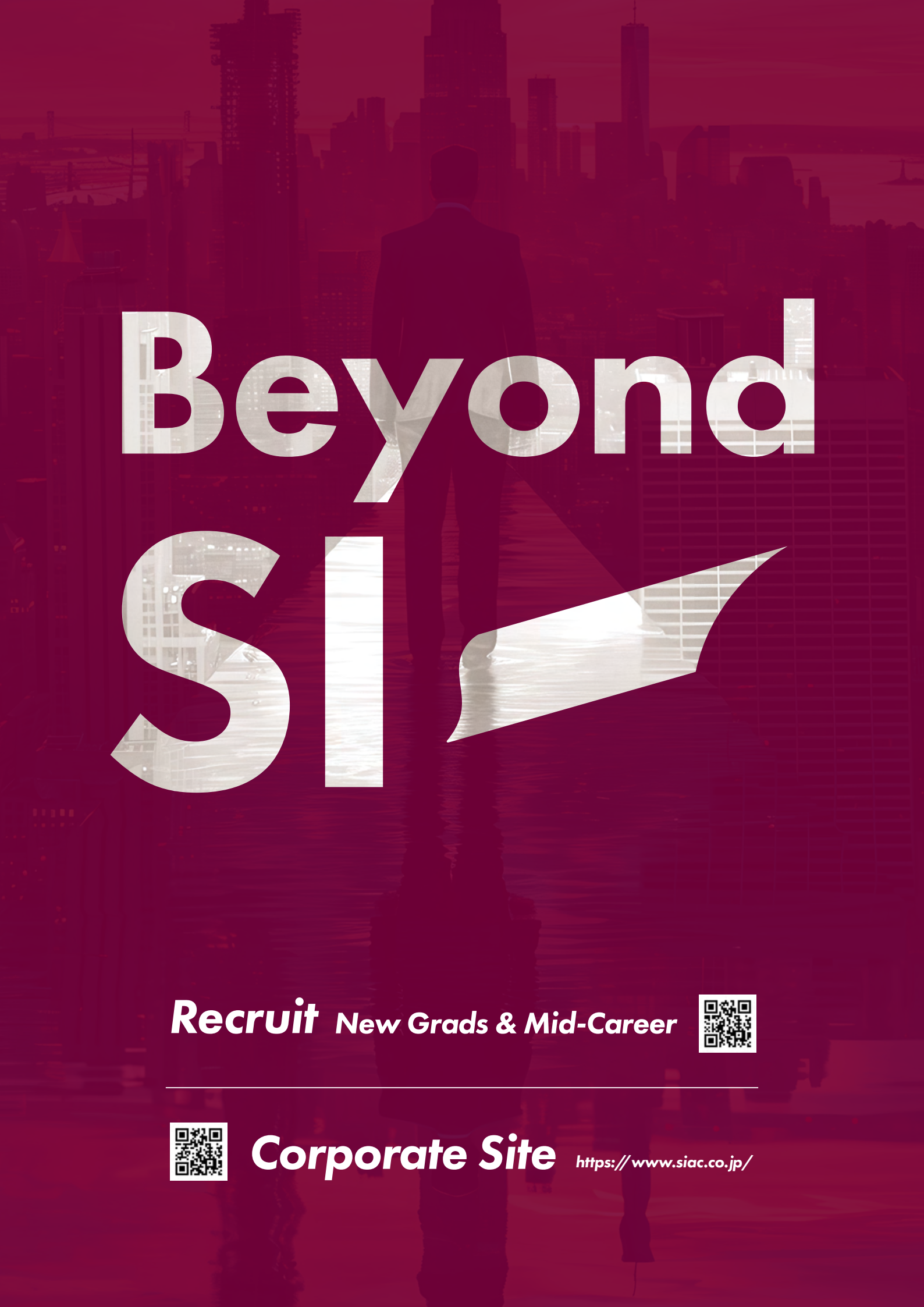

子ども食堂への支援：おひさまキッチン

わかばファームで生産された野菜を活用し、子ども食堂「おひさまキッチン」への支援活動を実施しています。
子ども食堂とは、無料または低価格で子どもたちに食事を提供する自治体・地域住民主体のコミュニティ。全国に1万ヶ所以上存在しており、地域交流の拠点・子どもの貧困対策という２つの重要な社会的役割を担っています。

自社ファームで採れた新鮮な野菜を子ども食堂「おひさまキッチン」で活用いただくことにより、子どもたちの笑顔を少しでも増やすことができればと考えております。

開発途上国への給食支援活動：TABLE FOR TWO

特定非営利活動法人「TABLE FOR TWO International（TFT）」が実施する、開発途上国で飢餓に苦しむ子どもたちへの給食支援プログラム（TFT プログラム）にも参画。
自社ファームの野菜を社内で配布する際、開発途上国の給食1食分にあたる20円の寄付を募ることによりTFT プログラムを通じて子どもたちに学校給食が届けられる仕組みを整えています。
2024 年にはその支援内容が評価され、「シルバーパートナー」の認定と感謝状を受領いたしました。これらの活動はSDGsへの貢献だけでなく、健康的な食生活に対する社員の意識向上にも繋がっています。



Recruit New Grads & Mid-Career

Corporate Site https://www.siac.co.jp/